

# 正誤情報

この度は森北出版発行の書籍をお買い求めいただき誠にありがとうございました。標記の書籍に誤りのある箇所がございましたので訂正させていただきます。

## タイトル

# 失敗から学ぶ設備工事

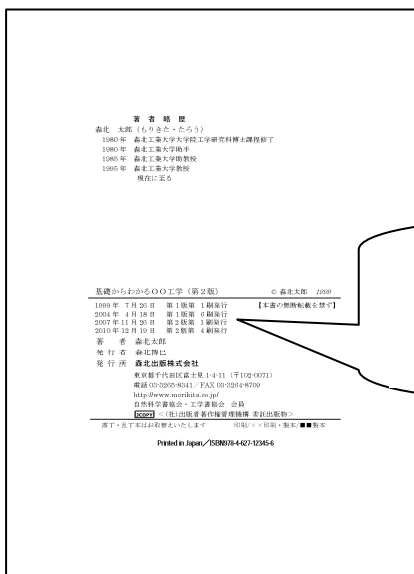
## 正誤対象

お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ(下記の「刷数の調べ方」をご参照ください)、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という欄がございますので、該当する「対応刷数」の訂正情報をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1刷	対応刷数 1 より 3 までをご参照ください
2刷	対応刷数 2 より 3 までをご参照ください
3刷	対応刷数 3 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

## 刷数の調べ方

本の一番後ろに下図のようなページがございます。ご参照いただきお客様の本の刷数をお調べください。



1999年 7月 26日 第1版第1刷発行  
 1999年 7月 26日 第1版第1刷発行  
 2007年 11月 26日 第2版第1刷発行  
 2010年 12月 19日 第2版第5刷発行

日付が最も新しい行に記載された  
 数字がお客様の本の刷数です。

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
1	3	3行目	…高温室や冷蔵庫で…	…高温室や <b>冷凍庫</b> で…
1	13	原因	その結果,空調機の蒸発器部分での熱交換量が低下し…	その結果,空調機の蒸発器部分 <b>を通過する風量が低下し, 熱交換器での温度差が大きくなって出口温度が低下するとともに…</b>
1	17	原因	上板から 300mm 下の通気兼用オーバーフロー管 (100A) であったが, 配管内の詰まりなどの影響で多量の還水を排出しきれず満水状態となり, 逃げ場を失った還水により還水タンクの内圧を高くし, 側板を膨張させた (図 (a) 参照).	上板から 300mm 下の通気兼用オーバーフロー管 (100A) であったが, <b>多量の還水により閉塞状態に近づき,そこに高圧ドレンの還水が戻り, フラッシュ蒸気が発生. 逃げ場を失ったフラッシュ蒸気と還水によって還水タンクの内圧が高くなり, 側板が膨らんだ.</b>
1	37	図(c)	図中左下 温水(返)	温水 <b>(還)</b>
2	39	12行目	…0.1MPa 未満は銅管…	…0.1MPa 未満は銅管…
1	56	図 (a)	右のように修正	

1	65	図 (b)	右のように修正	
1	88	図 (a)	右のように修正	
1	106	図 (a)	(図(a)内) 支持・固定	(図(a)内) 支持・固定なし
1	107	原因, 図	(2 箇所) 高圧ドレン	高圧蒸気ドレン
1	132	原因	・・・平均 1.5m/s であった, ...	・・・平均 1.5m/s 以上であった. ...
1	137	(5)	(図下部) 湧水ビット	(図下部) 湧水ビット

1	151	用語解説	エロージョン：壊食. …	エロージョン：潰食. …
3	183	図 C	<p>室内温度 <math>\theta_r</math> (°C)</p> <p>ダクト表面温度 <math>\theta_s</math> (°C)</p> <p>ダクト内空気温度 <math>\theta_d</math> (5°C)</p>	<p>室内温度 <math>\theta_r</math> (°C)</p> <p>ダクト表面温度 <math>\theta_s</math> (°C)</p> <p>ダクト内空気温度 <math>\theta_d</math> (5°C)</p>
3	183	図 C (注)3. 2行目	$\alpha_r = 8.7 \times 10^{-3} \text{ kW/m}^2 \cdot \text{h} \cdot \text{deg}$	$\alpha_r = 8.7 \text{ W}/(\text{m}^2 \cdot \text{K})$
3	183	図 C (注)4. 2行目	$\alpha_d = 40.7 \times 10^{-3} \text{ kW/m}^2 \cdot \text{h} \cdot \text{deg}$	$\alpha_d = 40.7 \text{ W}/(\text{m}^2 \cdot \text{K})$
1	193	(i),(ii)	シーラ	シール
1	206 ~ 207		キャブタイヤケーブル	キャブタイヤケーブル
1	206	図	(図中央) キャブタイヤケーブル	(図中央) キャブタイヤケーブル
1	263	付録 1	(鑄鉄管-青銅) ×	要